

## 平成27年（2015年）ぶらくり会7月例会報告

開催日時：7月22日（水）午後6時30分～午後8時

開催場所：神戸市勤労会館 406号室

講師：神原 克收（かんばら よしかず）様

和歌山大学経済学部10期卒

講演テーマ：「海外ロングステイのお勧め・・・パート2」

出席者数：19名

ご存知の方も多いとは思いますが、講師は奥様および多くのご友人とともに台湾、中国、ポルトガル、イスラエルそしてごく最近ではアドリア海諸国等様々な国、地域を訪問されて、観光旅行だけではなく現地の方々との交流を楽しまれておられます。

講師にはちょうど10年前に「海外ロングステイのお勧め」というタイトルでタイ・チェンマイでのお話をして頂いたそうですが、この度はその続編として「海外ロングステイのお勧め・・・パート2」というタイトルで再びご講演を頂きましたのでその要旨をご報告致します。

講師は台湾でのロングステイを何回も経験されていますので、講演は台湾の話を中心に進められましたが、本題に入る前に、テーマにあるロングステイとロングトラベルの違いを項目別に以下の様に分類されることから始まりました。

項目	ロングステイ	ロングトラベル
住居	コンドミニアム	ホテル
滞在期間	1～3か月（No Visa で滞在出来る最長期間）	2週間～1か月
食事	朝：自炊 昼・夜：外食 or 自炊	朝：ホテル 昼・夜：外食
費用の目安	夫婦で1万円以内/日 （航空券込み）	夫婦で2～3万円以内/日 （航空券込み）

次に目的別のステイ先として以下の国および都市を挙げられております。

国名・都市名	目的
チェンマイ	ゴルフ、マッサージ
台湾	地元との交流
セブ、ダバオ、大連	語学留学
バリ島	民族芸能、音楽
ペナン島、ハワイ、クアラルンプール	期間移住（年単位）

さて、本題の台湾でのロングステイであります。ステイされた都市の環境を以下の様に整理されています。

	新竹市	台中市	高雄市
部屋タイプ	ワンルーム	1LDK	2LK、2DK
部屋代（月額・2人分）	84,000円 （光熱費別）	126,000円 （光熱費別）	144,000円 （光熱費込み）
言葉（日本語）	△	○	△
バスタブ	シャワーのみ	バスタブ有り	バスタブ有り
洗濯機	共同、コイン式	部屋に洗濯機有り	部屋に洗濯機有り
外食環境	○	◎	○
買物環境	◎	◎	○

上記を金額ベースで表すと以下の様になります。

項目	金額（月額、2人分）
住居費	80,000～150,000円
食費	60,000～70,000円
観光代	30,000円
雑費	40,000円
合計	210,000～280,000円

航空運賃（別途）：25,000円／1人・往復

ロングステイ先の台湾では、以下の様なことを行っておられたそうです。

- ① 食事会、カラオケ、バス旅行、料理交換会、折紙、台湾手芸交流、ハイキング、ゴルフ、サイクリング、太極拳、中国語会話、学校の清掃等のボランティア活動、等々
- ② 学生との交流
- ③ 日帰り、1泊旅行
- ④ 日本人同士の会食、おしゃべり、ショッピング、等々

これらのことを行うのに、「銀髪族協会（定年退職者協会、TARP、Taiwan Association of Retired Person）」およびロングステイのシニア用に設計された「振英会館」の存在が大きかったとのことでした。

「銀髪族協会」は50歳以上のかたがたで構成され会員は約8,000人おられるそうですが、日本のロングステイクラブ（LSC、後述）のメンバーの訪問を大変歓迎してくれるそうです。

台湾は親日的な国といわれていますが、講師によると「超」がつくほどの親日国だそうです。

これはやはり日本統治時代（1895～1945、50年間）に台湾人のために現地を治めた児玉源太郎、後藤新平、新渡戸稲造や、インフラ整備・教育制度改革の明石元二郎、ダム建設の八田與一、磯田謙造、治水工事の西郷菊次郎、教育に殉じた六人の先生、森川巡査、蓬萊米の末永仁および磯永吉等、我々日本人の先輩たちのお蔭に負うところが大きいとのことでした。これらの方々は現地では「神」の如く慕われています。

因みに、台湾で嫌われている国のナンバーワンはやはり中国だそうです。次に韓国がランキングされているそうです。

食べ物については、脂っこくなく、塩分も少な目で且つ選択肢が多く、果物は安くおいしいそうです。また、レストランでの食事には基本的にアルコールはないため、持ち込みが可能とのことでした。

交通費は安く、特に台中、高雄ではバス代は無料だそうです。サイクリングロードもよく整備されていて専用のパンフレットが準備されていたり、レンタル自転車も多く準備されているとのことでした。

講師が、台湾でのロングステイを大いに楽しまれているのは（日本の）ロングステイクラブ（LSC）に所属して、会員の皆さんと台湾を訪問され現地の銀髪族協会（TARP）と接触された結果、TARPのメンバーに歓迎されたことが大きく影響していると思います。

LSCは会員数約400家族の組織で、年会費は5,000円、会報は年4回発行、例会は年4回開催されているそうで、同好会は18（ゴルフ、ハイキング、囲碁、将棋、ヨット、スキューバダイビング、カラオケ、台湾旅行、etc）あるそうです。

一度、LSCのホームページ（<http://www.longstaykansai.org/>）にアクセスしてみてください。会員の活動状況等が紹介されていますし、講師の活動レポートが多く掲載されています。

ご講演は前述の様に、台湾でのロングステイを中心に進められましたが、チェンマイでのゴルフでのロングステイのお話がありましたのでご紹介します。

チェンマイには多くの日本人ゴルファーがロングステイされているとのことですが、プレーフィー等費用の概要は以下の通りであります（すべて1か月分で単位は円）。

・住居（コンドミニアム）費	: 50,000～70,000／2人用
	: 30,000～50,000／1人用
・食費	: 50,000～70,000／2人
・ゴルフ代（8回、キャディー代込み）	: 50,000
・マッサージ代（8回）	: 7,000
・観光代	: 20,000～30,000
合計（2人分）	: 180,000～230,000

\* 飛行機代別途：70,000／往復、1人

チェンマイでのロングステイでは食事は外食が主流だが選択肢も多いそうです。  
交通手段としてのソンテウ(乗合タクシー)も70円とリーズナブルだそうであります。  
ゴルフ好きの方は一度チェンマイ行きをご検討されては如何ですか。

この他に、イスラエルおよびアドリア海諸国でのロングステイについてもお話がありました  
りましたが、詳しいことは、ロングステイクラブ(LSC)のホームページにアクセス  
して頂き、講師の旅行記をご覧になって下さい。

現役を退き、悠々自適の日々を送られている皆様も多いとは思いますが、講師の様に  
海外でのロングステイを楽しむのも人生の幅を広げることができ、老後の過ごし方  
の一つかもしれません。

チャレンジしませんか！！

ぶらくり会世話人 平林 義康 (大学20期)



